

会議録(要旨)

会議名	令和4年度当事者会 7月定例会	文責	障がい福祉室
日時	令和4年7月21日(木) 午後1時30分～3時30分	場所	吹田市立勤労者会館2階 大研修室1

当事者会において取り組む事項について協議

1 令和4年4～6月会議で交わされた意見のまとめ

次回持ち越し。

2 グループワーク

【テーマ及び意見】

(1)「自身が抱える悩みや社会資源の課題について」

- ・医療的ケアの必要な方の短期入所先(医療型)がない。富田林市・大阪市など遠方に行かざるを得ない。
- ・視覚障がいの場合、就労先が少なく、経済面の安定が図りにくい。かなり高い割合で生活保護を受けている。
- ・若い人の視覚障がい(に限らずだが)の方が地域のどこに住んでいるのか分かりづらい。
- ・ガイドヘルパーを通勤にも使えるようにしてほしい。制度上、使える現状ではないので。
- ・通学支援は保護者や親族が行うのが通念だが、そうでない制度を導入してほしい。
- ・本人のニーズに応じたフォロー体制が十分であれば、障がい者は生きやすいと感じる。
- ・知的障がい児の保護者同士のつながりが希薄。市内に限らず、他市もそうであり、府全体の傾向である。
- ・差別的な心ないひとこと(コンビニ入店お断りなど)
- ・高次脳機能障がいがあり、疲れやすく、外出が十分できない方もいるのが現状。
- ・娘に合う作業所が中々見つからない。週に1回しか使えず、ニーズに応じた通所先を見つけにくい。
- ・新聞への投稿を行った際、A型事業所と記載したところ、新聞社の記者がA型事業所というものを知らず、一から説明しないとイケなかった。新聞記者でさえ知らないという現状。

(2)「当事者会で自分がやってみたいこと・できること」

- ・ここに来られない方の意見も吸い上げて、世の中に発信していきたい。
- ・全盲の落語家さんなど知名度の高い方や発信力のある方に講演いただき、障がいを持った方の困りごとについて、理解を広げたい。
- ・地域で住まう中で、困った時に配慮することが当たり前環境づくりをしたい。
- ・障がいを持つ子の存在を地域で知らない方が多くいる。地域での人間関係が希薄化している。
- ・いつ、自分が障がい者になるとも限らない。単発的な啓発だけではなく、障がいについて継続的な情報発信が必要ではないか。
- ・当事者会の知名度を上げる。(市ホームページに当事者会のページはあるが、そこに議事録を掲載し、具体的に何に取り組んでいるか発信し、知ってもらう必要がある。)
- ・吹田市の障がい者の思いをまとめ、情報発信する。
- ・各党派の議員が障がい者のことをどのように考えているか、アンケートなどで聞き取る。
- ・当事者会としての目標を定め、タイムスケジュールをたてて取り組んでいきたい。

【まとめ】

グループワークの意見等を踏まえ、今後の当事者会の取り組みを検討する。